



# ジカウイルス感染症 予防の手引き

平成29年3月発行

**監 修：** 濱田篤郎（東京医科大学病院 渡航者医療センター）

**発 行：** 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「国内侵入・流行が危惧される昆虫媒介性ウイルス感染症に対する総合的研究」（研究代表者：国立感染症研究所 田島茂）

**連絡先：** 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

東京医科大学病院 渡航者医療センター

TEL: 03-3342-6111

電子メール: [travel@tokyo-med.ac.jp](mailto:travel@tokyo-med.ac.jp)

**制 作：** （株）アイワエンタープライズ

## はじめに

中南米、南太平洋、東南アジア、アフリカなどでジカウイルス感染症が流行しています。日本人の海外渡航者が流行地域で感染するケースも報告されており、流行地域に滞在する際には、十分な予防対策をとることが必要です。

この冊子は、流行地域に滞在する渡航者の方々を対象に、ジカウイルス感染症を予防する知識を提供するために作成されました。

## 目次

- ジカウイルス感染症とは..... 1
- ジカウイルス感染症の症状や検査..... 2
- ジカウイルスの感染経路..... 3
- ジカウイルス感染症の予防方法..... 4
- ジカウイルスQ&A..... 5

この冊子は日本医療研究開発機構の新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「国内侵入・流行が危惧される昆虫媒介性ウイルス感染症に対する総合的研究」の一環として作成されました。

## ジカウイルス感染症とは

蚊が媒介するウイルス疾患で発熱や発疹などの症状をおこします。このウイルスは、2007年から南太平洋の島々で流行が広がり、2015年にはアメリカ大陸に上陸して流行が急速に拡大しました。また、2016年には東南アジアでも流行が確認されています。

ジカウイルスで注意する点が二つあります。一つは、妊婦が感染すると胎児に小頭症などの障害をおこす可能性のある点です。もう一つは、このウイルスは蚊に媒介されるとともに、性行為によっても感染する点です。

ジカウイルス感染症の主な流行地域は中南米、南太平洋、東南アジア、アフリカなどですが、その状況は刻々と変化しています。最新の情報は以下の厚生労働省のホームページを参照ください。

■ <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000113142.html>

ジカ 流行地域 厚労省

検索

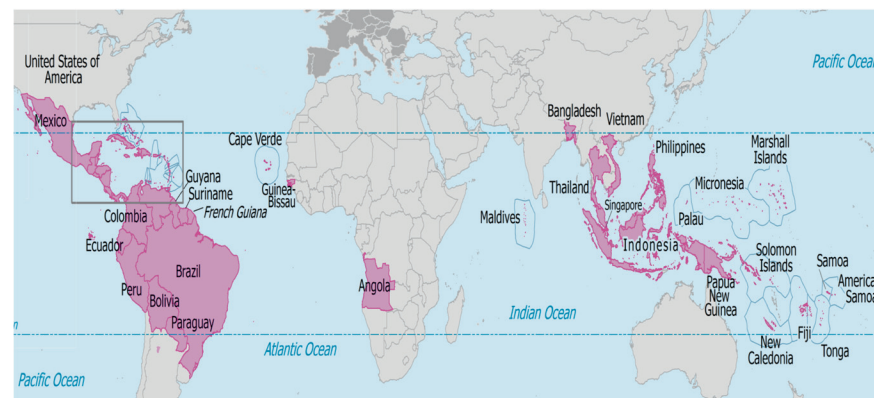


図1. ジカウイルス感染症の流行地域 (出典：ヨーロッパCDC)  
過去9カ月以内に患者が確認された国や地域を示す (2017年2月時点)

## ジカウイルス感染症の症状や検査

ジカウイルスに感染した人の約2割が、2日～12日の潜伏期間を経て症状をおこします。症状としては皮膚の発疹やかゆみ、結膜炎などが多く、発熱がみられるのは患者の3割～6割ほどです。通常は約1週間で後遺症なく回復しますが、稀にギランバレー症候群と呼ばれる神経疾患を合併することがあります。

妊婦が感染した場合は、胎児に小頭症などの障害をおこす可能性があります。これは妊娠初期の感染で多いとされていますが、妊娠中期以降の感染でもおこる場合があります。

ジカウイルス感染症が疑われる患者の診断には、血液などを用いたウイルスの遺伝子検査や抗体検査が行われます。ただし、これらの検査は行政機関（国立感染症研究所や地方の衛生研究所など）でのみ実施されています。ジカウイルスには有効な治療法がないため、患者には症状を軽減させるための対症的な治療を行います。



(国立国際医療研究センター 忽那医師提供)

図2. ジカウイルス感染症の発疹 (出典：蚊媒介感染症の診療ガイドライン第4版)

## ジカウイルスの感染経路

ジカウイルスは主に蚊に刺されて感染しますが、時に性行為による感染もおこります。また輸血により感染した例も報告されています。

### 1) 蚊による感染

ジカウイルスを媒介する蚊は主にネッタイシマカやヒトスジシマカで、これらの蚊は昼間に吸血する習性があります。とくに「日の出直後」や「日没前」に活動性が高くなります。ネッタイシマカは日本に生息していませんが、ヒトスジシマカは日本の東北地方より南の地域に生息しています。

### 2) 性行為による感染

ジカウイルスは性行為で感染することが明らかになっており、とくに男性から女性への感染が多いとされています。男性がジカウイルスに感染した場合、症状がなくても精液中に6か月間はウイルスが存在する可能性があります。



図3. 媒介蚊 (出典：国立感染症研究所 昆虫医学科学部)

## ジカウイルス感染症の予防方法

ジカウイルス感染症にはワクチンがないため、蚊に刺されない対策や性行為における注意で予防します。

### 1) 蚊に刺されない対策

流行地域に滞在中は蚊に刺されない対策をとってください。媒介する蚊は昼間吸血する習性があり、とくに「日の出後」や「日没前」は要注意です。

- 蚊の多い場所では皮膚の露出をひかえましょう
- 皮膚の露出している部分には昆虫忌避剤を塗りましょう
- 屋内では殺虫剤や蚊取り線香を用いましょう

### 2) 性行為における注意

流行地域に滞在中は、コンドームを使用するなど、できるだけ安全な性行為を心がけましょう。また、流行地域から帰国した人は、帰国後 6 か月間は安全な性行為を心がけてください。流行地域から帰国した女性が妊娠するのも、帰国後 6 か月以上たってからにしましょう。

(出典：ジカウイルス感染症のリスクアセスメント第 10 版 国立感染症研究所 2016 年 12 月 14 日)

#### 昆虫忌避剤

昆虫忌避剤の有効成分にはディートやイカリジンがあります。時間がたつと効果がなくなるので、くり返し塗るようにしましょう。なお、ディートを 12 歳未満の子どもに使用する場合、使用回数に制限があるのでご注意ください。詳細は商品に明記されている使用方法をご確認ください。



## ジカウイルス Q & A

### ● 妊婦は流行地域に渡航しない方がいいですか？

妊婦がジカウイルスに感染すると胎児に障害をおこす可能性があります。できるだけ妊娠中は流行地域への渡航をひかえましょう。



### ● ジカウイルスの検査はどこで受けられますか？

ジカウイルス感染症の検査は症状（発疹や発熱など）のある人を対象に行っています。流行地域から帰国して症状がある人は日本感染症学会の「ジカウイルス感染症協力医療機関」を受診してください。

■ [http://www.kansensho.or.jp/mosquito/zika\\_list.html](http://www.kansensho.or.jp/mosquito/zika_list.html)

ジカウイルス 感染症学会

検索

### ● 流行地域から帰国した人は、いつ頃から献血できますか？

ジカウイルスは輸血で感染する可能性があるため、献血は帰国後 4 週以降にしましょう。